

# 2024年度 短期特別研修のご案内 (オンライン研修)

政策研究大学院大学 × 住宅金融支援機構

地域が抱える住まいとまちづくりの政策課題  
に対する金融の活用方法

“住まい” と “まちづくり”  
の課題解決に  
“金融” の手法の活用  
を考えてみませんか？

2024年10月21日（月）～10月25日（金）

2024年11月11日（月）～11月15日（金）

- ※ 同内容の研修を、上記2期間で行います。いずれかを選択できます。
- ※ ZOOMを活用したオンラインによる遠隔講義形式の研修となります。  
インターネット環境が整っていれば、勤務先や自宅など、場所を選ばず受講が可能です。

主催：国立大学法人 政策研究大学院大学



お問い合わせ

短期特別研修事務局（まちづくり政策コース内）  
03-6439-6197 : tankikenshu2024@gmail.com

# 短期特別研修(オンライン研修)

## 地域が抱える住まいとまちづくりの政策課題 に対する金融の活用方法

### 研修のねらい

- 人口減少や少子高齢化、災害の多発・激甚化などの社会状況を踏まえ、コンパクトなまちづくり、既成市街地の活性化、空家・空店舗対策、老朽化マンション対策、住宅の耐震化など、地域の抱える住まい・まちづくりの課題への対応がますます重要となっています。
- これらの課題に対応した政策を行政のみで担うことは難しく、資金や地域資源に関するノウハウ等を有する地域金融機関と行政とが連携し、それぞれの強みを持ち寄った政策を展開すること、すなわち、住まい・まちづくりの課題に対する「金融」の活用が必要となります。
- この研修は、「住まいとまちづくりの政策課題に対する金融の活用方法」を学び、上記の課題に対応していくための政策提案能力と問題解決能力を身につけることを目的としています。

### 研修の特徴

#### 📖<研修カリキュラム>

- この研修では、講義のカリキュラムを、①政策論、②学術的アプローチ、③実践的アプローチの3つのテーマに分け、基礎から応用、一般論から具体論というかたちで体系的・立体的に構成し、受講者の理解度を深めるよう工夫しています。
- 各講義で取り扱うテーマも、地域が直面する住まい・まちづくりに関する政策課題を踏まえたものとしています。
- また、一方通行の講義だけでなく、受講者への問いかけ、ディスカッション、グループワークを含んだ内容を取り入れることで、現実の政策課題解決に向けた思考トレーニングが行われるよう工夫しております。  
さらに、グループワークを通じた受講者間の情報交換やネットワークづくりを期待しています。
- 講義は、学識者や都市・住宅・金融の分野の第一線の専門家により行います。
- オンラインによる5日間の短期研修です。

### 対象者

- 地方公共団体と地域金融機関（地方銀行、信用金庫及び信用組合）にお勤めの方を対象としています。

### その他

- 本研修は、政策研究大学院大学と住宅金融支援機構が連携して行います。

## <研修の概要>

**研修期間** 2024年10月21日(月)～10月25日(金)  
2024年11月11日(月)～11月15日(金)  
※ 同内容の研修を、上記2期間で行います。いずれかを選択できます。

**研修方法** ZOOMを利用したオンラインによる遠隔講義形式  
ZOOMを利用できるインターネット環境が整っていれば、勤務先や自宅など場所を選ばず受講いただくことができます(※)。  
(※安全性が高い通信網および必要なセキュリティ対策が施された端末等 詳細は募集要項参照)

**定員** 30名程度(各期間概ね15名ずつ)

**受講費用** 15,000円(税込)

**申込方法** 政策研究大学院大学ホームページにて、募集要項、申込票を入手いただけます。  
(<http://www.grips.ac.jp/jp/training2/domestic/>)  
申込票に必要事項を記載の上、下記メールアドレス宛お送りください。

**お問い合わせ** 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1  
政策研究大学院大学 まちづくり政策コース内 短期研修事務局  
TEL: 03-6439-6197  
E-mail: :tankikenshu2024@gmail.com

## <参考：過年度の研修結果の概要>

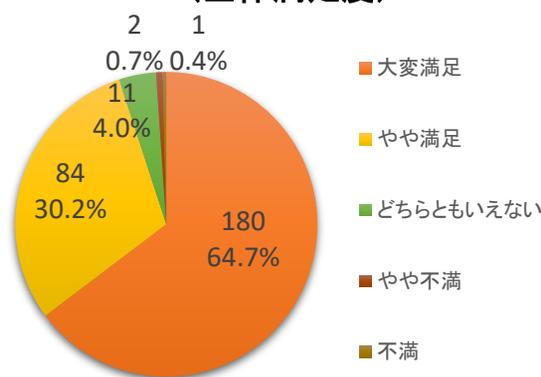
この研修は、ご参加いただいた多くの皆様にご満足いただいています。  
**満足度約95%**

\* 「大変満足」と「やや満足」の合計値

### <本研修の受講者の声(例)>

- ・講義の内容と順番が、概論から各論へと理解を深める形になっており、わかりやすかったです。(A県受講者)
- ・金融面を学ぶ機会が乏しく、財源確保に頭を悩ませていたが、ファンド等様々な手法を学べて今後に生かせそうです。(B市受講者)
- ・金融機関目線での各事業の話や他自治体の問題点や課題解決の話を知ることができ、大変勉強になる研修だった。今後の業務に是非活かしていきたい。(C県受講者)
- ・金融面からの視点と知識を養うことができ、今後の業務で知ってるといえないのでは差が出る感じた。今まで金融機関に相談というと敷居が高いと感じたが、まず金融機関に相談してみるという考え方を得ることができたのは大きいと思った。(D市受講者)
- ・本当に幅広く、横断的に住まいとまちづくりの政策課題に対する金融の活用方法を学べましたし、気づきも多くありました。他自治体の課題等も伺えて、刺激になりました。得られた知識を今後の業務に活かすとともに、庁内、市町村への共有もしていきたいと思えます。(E県受講者)
- ・住宅関連法制や施策、事例等を網羅的に学ぶことができた。特に金融という分野はなかなか行政内で学ぶことができないところなので、そこが補足でき、今後の業務に大変に参考になると思った。また、グループ討議についても、問題を共有でき、ほかの市町村でも同じ悩みを抱えていることや、良い対応策を聞くことができた。(F市受講者)
- ・他業種、特に地方公共団体の方々と知識を深める機会があり、地元の自治体の政策等を考慮する必要があるという「気付き」をいただけたのが最もよかった点であったと思います。(G信用金庫受講者)

### 過去6年のアンケート結果 (全体満足度)



オンライン研修の場合、通信環境が研修の満足度に大きく影響します。

**受講される際には可能な限り、通信環境・設備を整えていただくことをお奨めします。**

\* 詳細はお問い合わせください。

# <研修カリキュラム>

	1限 8:55～10:20	2限 10:30～11:55	3限 12:40～14:05	4限 14:15～15:40	5限 15:50～17:15
月	開講	「都市・住宅関連法制」	「都市政策の現状」	「住宅政策の現状」	「金融に関する基礎知識」
火	「住宅ローン概論」	「ファイナンスをめぐる基本的な考え方」	「官民連携事業の金融支援」	「住宅金融制度と地域連携の取組」 「グループ討議」①	「グループ討議」②
水	「民間都市開発の金融制度」	「空家対策の取組事例と金融課題」	「耐震化の取組と金融活用」	「グループ討議」③	「グループ討議」④
木	「マンション管理・再生と金融課題」	「自治体における空家対策の取組事例」	「災害復興と金融対応事例」	「グループ討議」⑤	「グループ討議」⑥
金	「住宅マーケットの調査研究」	「受講者発表会」①	「受講者発表会」②	「受講者発表会」③	閉講

## ◆講義

### ①政策論（住宅・都市政策論）

- ・都市・住宅関連法制 … 都市・住宅政策に関連する法令の体系的な解説
- ・住宅政策の現状 … 国土交通省担当官による住宅政策の最新情報の解説
- ・都市政策の現状 … 国土交通省担当官による都市政策の最新情報の解説

### ②学術的アプローチ（住宅金融論）

- ・金融に関する基礎知識 … 研修全体の前提となる、金融に関する各種用語などの基礎解説
- ・住宅ローン概論 … 住宅ローンの仕組みについての基礎解説
- ・ファイナンスをめぐる基本的な考え方 … 資金の融資や出資を行う際に基礎となる視点や知識の解説

### ③実践的アプローチ（政策課題解決への金融の活用）

#### <金融機関との連携による政策課題解決>

- ・官民連携事業の金融支援 … PPP/PFIの概要とまちづくりでの活用、金融機関を中心とする各関係者の役割
- ・住宅金融制度と地域連携の取組 … 住宅金融支援機構の各種金融制度と機構における地域連携の取組事例
- ・民間都市開発の金融制度 … 民都機構によるまちづくり支援制度とその活用事例

#### <各政策課題に対する取組と金融対応>

- ・空家対策の取組事例と金融課題 … 空家対策の現状、空家の発生抑制や活用に関わる資金の調達方法
- ・耐震化の取組と金融活用 … 耐震化の促進の取組と金融の活用
- ・マンション管理・再生と金融課題 … マンション管理・再生の現状、資金不足対策等の金融課題
- ・自治体における空家対策の取組事例 … 地方自治体における空家対策の取組事例
- ・災害復興と金融対応事例 … 地方自治体における災害復興のための金融の活用事例

## ◆実務演習

- ・住宅マーケットの調査研究 … 不動産の価格決定要因の分析を題材に、データに基づく政策の実証分析演習

## ◆グループ討議・受講者発表会

… 5名程度のグループによる討議、地域の政策課題の金融を活用した解決方法に関する討議成果の発表

### 📄 昨年度からの主な変更点

- ・十分な討議時間と受講者発表会資料の作成時間を確保するため、グループ討議のコマを増やしました。
- ・能登半島地震などを機に、住宅の耐震化が注目されているところであり、耐震化の促進と金融の活用に関する科目を設けました。
- ・地方自治体における実際の空家対策の取組について、現場の担当者からお話いただく科目を設けました。